

龍城ヶ丘プール跡地等整備にもっと市民の声を！

整備はプール跡地だけではなかったの？
両側の樹林地がなくなったら
高潮や飛砂の防災機能はどうなるの？

—説明会では市民から不安が噴出！—

平塚市では、龍城ヶ丘プールが廃止される前年の2013年に、千石河岸から撫子原にわたる都市計画湘南海岸公園を5つのゾーンに分けた湘南海岸公園整備計画を策定しました。Bの龍城ヶ丘ゾーンではプールを廃止し跡地をレクリエーション拠点として整備すること、東西の樹林地どちらかの一部を駐車場として整備することが示されています。

今回市が進めようとしている龍城ヶ丘プール跡地整備事業は、2016年新たに策定された「ひらつか海岸エリア魅力アップチャレンジ」に基づくものです。東西の樹林地も整備対象としており、プール跡地だけの整備だと思っていた市民や、また防災機能を果たしてきた樹林地までもが対象となることに大きな不安を抱く市民が、市に計画の見直しを求めています。

市民に対する市の説明不足、多様な市民から意見を聞く姿勢が不足していた結果と考えます。



整備予定地 *平塚市資料より

—市民の命・暮らしに直結する整備は
もっと市の責任で！—

今回の整備はPark-PFIという、民間資金も活用しながら整備と管理を民間に委ねる手法で行おうとするものです。整備にあたって市が示した基本的な要求事項に基づき応募する事業者が計画をつくるという流れで、事業者から応募あつて初めて市民に具体的な計画案がわかることとなります。

異常気象による災害が深刻化する中、海岸整備という市民の命と暮らしに直結する整備は、本来もっと市が責任をもって行うべきと考えます。

すでに事業者公募はスタートしています。

今後の経緯に注視しながら、市民の意見が反映された、合意度の高い整備が行われるよう、働きかけを行っていきます。

計画見直しを求める市長への要望書 一市民の会が署名活動を実施中—

「豊かな海と暮らす平塚市民の会」による署名活動が実施され、ネット平塚も賛同・協力しています。多くの市民の声を市に届けましょう！

連絡先（電子メール）：yutakanaumito@yahoo.co.jp 代官町みかんや内

どうなる？介護保険

要介護1、2も保険給付から外す方向で検討が進められています

3年ごとに見直しが行われて介護保険制度。現在2021年からの改定に向けた検討が進められています。内容は要介護1、2を保険給付から外し、生活援助（ホームヘルプ）や通所介護（デイサービス）を自治体の地域支援事業へ移行しようというもの。前回の改定で要支援を給付事業から地域支援事業へ移行したばかりですが、その点検も行わないままに改定、更に利用者負担割合原則2~3割にアップやケアプランの有料化も検討されています。

神奈川ネットは国に見直しを求める署名活動をスタートしました。神奈川ネットHPから署名用紙にアクセスできます。是非、ご参加ください。

神奈川ネットワーク運動とは

1. 議員は2期8年で交代します。
2. 議員報酬は市民の活動資金として活用します。
3. 選挙はすべて市民の 캄パとボランティアで。

